

2007年8月30日

## 新宿区における日本語教室事業について ～財団の視点から～

新宿区立しんじゅく多文化共生プラザ  
(財)新宿文化・国際交流財団  
多文化共生課長 柳田富美子

新宿区の人口 (2007年7月1日現在) : 309,517人

|        |            |
|--------|------------|
| ・日本人   | : 278,181人 |
| ・外国人登録 | : 31,336人  |

### 大久保・百人町地区

80年代中期から90年代前期: 1回目の外国人急増期。アジア系を主体とする若い外国人居住者の流入。日本への関心の高まり→日本語学習がさかんになった。

90年代後期から2000年: 2回目の外国人急増期。韓国人の急増。90年代中期以降、ハングル表示の看板や店舗、教会が増加。

⇒大久保地区の外国人住民比率は1990年代後半以降、急速に上昇。2007年1月1日現在(外国人登録人口)、10,084人で、住民全体の23.3%を占める。(大久保1丁目だけの場合44.8%)。

### 【新宿区に外国人が住みやすい理由】

- ① 日本語学校が多い。専門学校や大学も多い。
- ② 韓国学校、フランス学校がある。
- ③ 歓楽街、繁華街におけるアルバイト先に近い。
- ④ すでに同胞が多く住んでおり、住みやすい生活環境ができている。  
⇒食材店・教会・働き場所・不動産屋など。
- ⑤ 交通の利便性

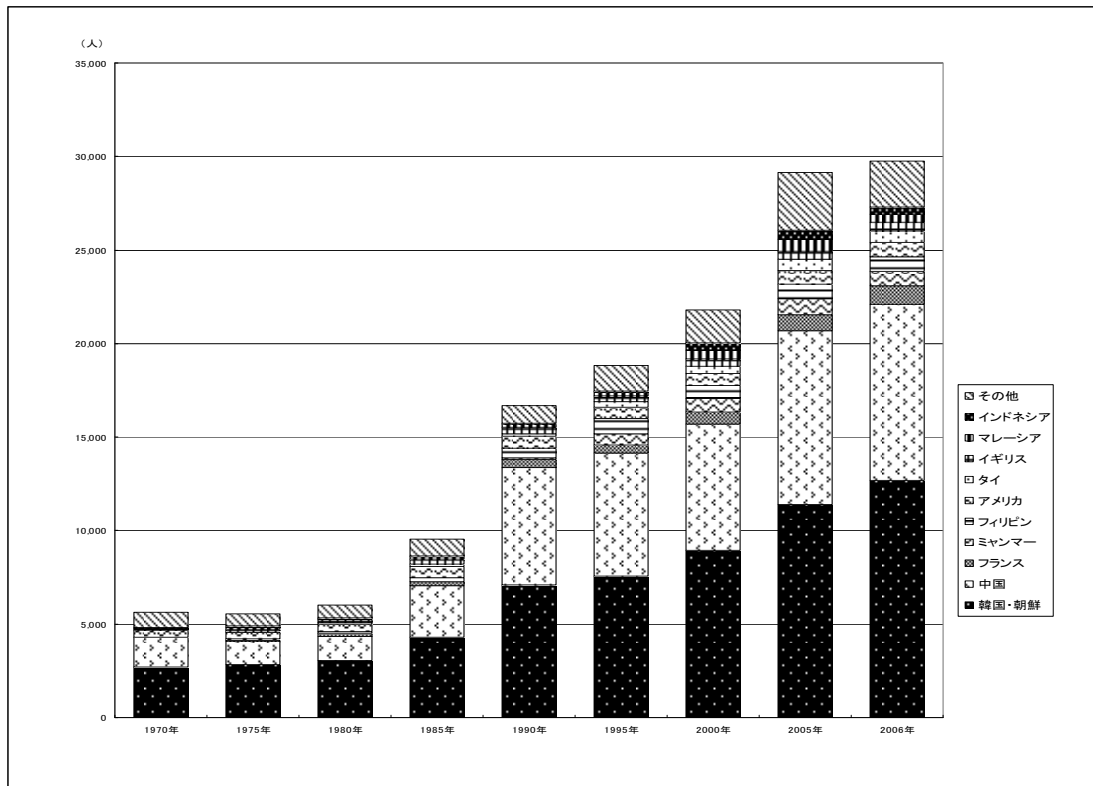
### 【財団が日本語教室を始めた経緯】

- ・1993年 (財)新宿区国際交流協会
- ・1994年からボランティアがおしえる日本語教室事業を実施、今日に至る。  
今年で14年目。

⇒この間の外国人登録者数の変化: 資料1

⇒学習者の変遷: 資料2

### 新宿区の国籍別外国人登録人口



|               |        | 1970年 | 1975年 | 1980年 | 1985年 | 1990年  | 1995年  | 2000年  | 2005年  | 2006年  |
|---------------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 外国人登録人口(人)    |        | 5,635 | 5,558 | 6,036 | 9,535 | 16,703 | 18,815 | 21,780 | 29,142 | 29,765 |
| 外国人登録人口の内訳(人) | その他    | 800   | 663   | 705   | 864   | 961    | 1,358  | 1,745  | 3,101  | 2,467  |
|               | インドネシア | 58    | 64    | 44    | 58    | 40     | 61     | 365    | 456    | 364    |
|               | マレーシア  |       | 80    | 39    | 132   | 161    | 202    | 475    | 657    | 461    |
|               | イギリス   | 104   | 106   | 175   | 261   | 356    | 305    | 392    | 433    | 465    |
|               | タイ     |       | 63    | 72    | 108   | 148    | 289    | 383    | 593    | 597    |
|               | アメリカ   | 388   | 347   | 372   | 637   | 618    | 612    | 658    | 722    | 759    |
|               | フィリピン  |       | 92    | 110   | 197   | 545    | 790    | 702    | 796    | 778    |
|               | ミャンマー  |       | ※6    | ※11   | ※11   | 85     | 636    | 707    | 831    | 788    |
|               | フランス   |       | 65    | 167   | 222   | 398    | 429    | 661    | 880    | 998    |
|               | 中国     | 1,564 | 1,255 | 1,272 | 2,730 | 6,312  | 6,583  | 6,764  | 9,289  | 9,410  |
|               | 韓国・朝鮮  | 2,721 | 2,817 | 3,069 | 4,315 | 7,079  | 7,550  | 8,928  | 11,384 | 12,678 |

(注) ※印はビルマ

(注) 各年1月1日現在のもの

## 【学習者情報】

(2007年8月作成)

|      | 主な参加者、重点事業                                   | 特徴等  |
|------|--|--|
| 1994 | 韓国人駐在員の配偶者（妻）<br>日本語学校に通う就学生                 | 新宿区日本語教室のスタート。会場1ヵ所、ボランティア31名。学習者47名。通年。午前中。                                       |
| 1995 | 韓国人、中国人                                      | 新宿区内3ヵ所で教室を展開。地域により、韓国人の多い教室、中国人の多い教室、国籍多様な教室ができる。ボランティア60名。学習者180名。通年。午前中。        |
| 1996 | 韓国人、中国人、昼間企業で働くビジネスマン                        | 午前中のクラスに加え、夜間の教室1クラスを増設。   |
| 1997 | 韓国人減少 タイ人、イラン人等の新しい層                         | アジア通貨危機。韓国はIMFからの金融支援と管理。歌舞伎町に隣接する場所に1クラス増設、午後のクラス。午後のクラスの学習者は調理師、建設現場労働者、飲食店従業員等。 |
| 1999 | 韓国人減少<br><br>歌舞伎町やその近隣で働く人々や日本人の配偶者(妻)が増加    | 会場の都合により日本語教室を1ヵ所に集約。歌舞伎町に隣接する、廃校になった小学校跡地で12クラスを運営。<br><br>午前のクラス、午後のクラス          |
| 2004 | 子どもとお母さん                                     | 大久保小学校で外国人親子のための日本語教室開始（託児付き）。   |
| 2005 | 日本人の配偶者、飲食店従業員およびその家族、韓国人駐在員の配偶者（妻）          | 日本語教室を区内8地区9教室に分散。地区ごとに学習者の傾向がある。  |
| 2006 | 日本人の配偶者、飲食店従業員およびその家族、韓国人駐在員の配偶者（妻）、難民、家族滞在者 | SNN（新宿日本語ネットワーク）による各種日本語講座（ひらがな・カタカナ、漢字、日本語会話）開始。                                  |
| 2007 | 子ども(小学生、中学生)                                 | 「新宿子どもクラブ」活動開始<br>日本語学習と教科学習   |